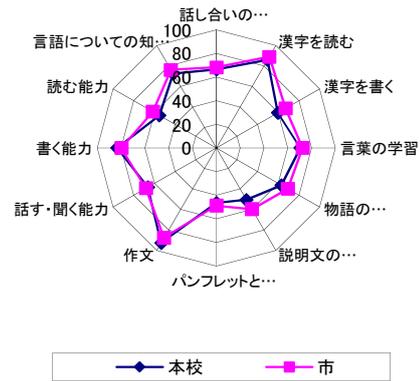


宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	66.3	68.2
	漢字を読む	86.0	89.0
	漢字を書く	59.5	67.0
	言葉の学習	70.5	72.3
	物語の内容を読み取る	63.0	69.2
	説明文の内容を読み取る	50.7	59.8
	パンフレットと話し合いの内容を読み取る	46.5	48.9
	作文	92.8	87.8
観点別	話す・聞く能力	66.3	68.2
	書く能力	83.2	79.5
	読む能力	55.2	61.5
	言語についての知識・理解・技能	72.6	76.2



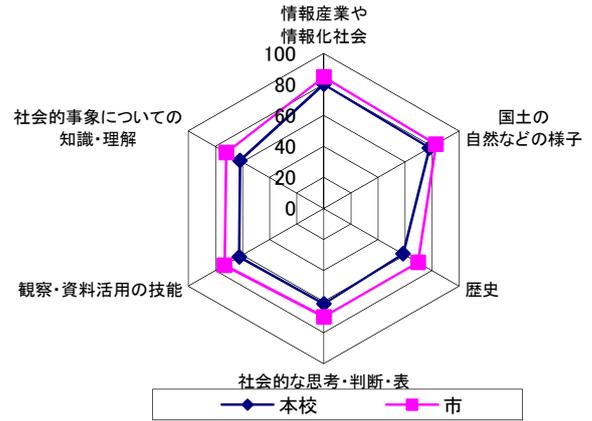
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図を考えながら話の内容を聞いたリ、司会者の役割を理解して適切な言葉づかいで話したりすることが市平均正答率を上回った。 話し方の工夫を考えながら、話の内容を聞くことは不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話を聞くとときは、その意図を考えながら最後までしっかり聞くことや適切な言葉づかい自分の意見を述べることなどを重点的に指導していく。
漢字	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読みでは市の平均正答率を下回った。 漢字の書きでは5年時に学習した字を正しく覚えていなかったことで正答率が下がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字について新出漢字を学習する際は熟語を用いて意味をしっかりと考えさせていく。またミニテスト・50題テストなどで、反復練習を継続しながら定着を図る。
言葉の学習	<ul style="list-style-type: none"> 尊敬語は市の平均正答率を上回っているが、謙譲語が市の平均正答率を下回っており、敬語の使い方の理解が不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 尊敬語や謙譲語について使用される場面を具体的に想定し、役割演技などで実際に使う機会を設け、定着を図る。
物語の内容を読み取る	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心情を読み取ることは市の平均正答率を上回っていた。 登場人物の様子を読み取ったり場面の情景を思い浮かべながら、登場人物の心情を読み取ることが不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心情を読み取る力が身につけているので、今後も気持ちに寄り添いながら読んでいくよう、読み取りの視点を押さえた指導をしていく。 登場人物の様子から、どんな気持ちが込められているか関連付けて考えるよう指導していく。
説明文の内容を読み取る	<ul style="list-style-type: none"> 市の平均正答率を上回っており、文と文のつながりを考えたり文章の内容を的確に押さえたりしながら読み取ることができた。 段落のまとまりを考えながら読み取ることが市の平均正答率を下回っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明文の構成を意識しながら、的確に筆者の考えを読み取っていくように指導していく。
パンフレットと話し合いの内容を読み取る	<ul style="list-style-type: none"> 資料と話し合いの内容を正しく読み取って考えることは、市の平均正答率を上回っていた。 資料と話し合いの内容を正しく読み取り、適切に文を書き加えることは不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> キーワードに目を向け、資料や話し合いで伝えようとしている内容の重点事項を押さえながら読み取れるよう指導していく。
作文	<ul style="list-style-type: none"> 市の平均正答率を上回っており、指定された長さや2段落構成などの条件を守って文章を書くことができた。 AとBのどちらに賛成か、また、賛成しない意見への反論を加えて、賛成する理由を区別してかくことが100%の正答率だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定された条件を見落とすことのないよう、文章に印をつけたり見直しをしたりさせる。 文章は意見と理由を区別して書くことができたので、今後も読み手を意識することで分かりやすい内容になるようさらなる定着を図る。

宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	80.0	84.7
	国土の自然などの様子	78.0	82.7
	歴史	58.5	69.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	61.5	69.9
	観察・資料活用 of 技能	62.5	73.3
	社会的な事象についての知識・理解	61.9	71.9



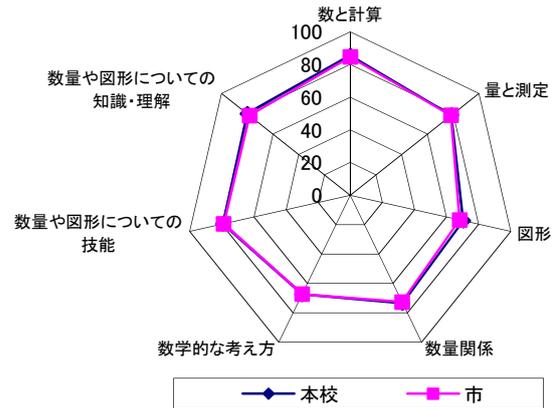
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを作成する際の注意すべき内容について判断したりする設問では、市の平均正答率とほぼ同程度だった。 ・メディアの種類とその特色を理解したり情報ネットワークについて、コンビニエンスストアを例に考察することは不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアの商品管理と情報との関わりを考えたり、情報を利用するときの注意点を判断したりすることが不十分であった。今後は身の回りにある情報について意識させながら指導していく。
国土の自然などの様子	<ul style="list-style-type: none"> ・林業に関する内容と合致する資料を選択したり、複数の資料の変化を読み取り、判断したりすることは市の平均正答率とほぼ同程度だった。 ・環境を守る取り組みについての理解が市の平均正答率を下回っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料について、題名や記号、数値など必要な個所を落とさずに見比べ、正しく読み取り判断することが身につけている。 ・環境については、昨年からの国語・総合的な学習の時間等においても横断的に取り組んできた。資料をもとに、思考・判断し正答を導き出せるよう指導していく。
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・「長篠の戦いについて」から「寺子屋で学んだ子どもについて」は、市の平均正答率を上回っている。 ・「天皇中心の国づくり」から、「明治維新と世界に歩み出した日本」まで、範囲が広がると、市の平均正答率が下回っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一度それぞれの時代の主要な出来事を押え、写真や資料から読み取り正しく判断することができるよう指導していき、内容の定着を図る。

宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	85.5	84.6
	量と測定	78.6	78.3
	図形	70.4	68.2
	数量関係	73.4	72.6
観点別	数学的な考え方	67.4	67.3
	数量や図形についての技能	79.2	78.9
	数量や図形についての知識・理解	80.0	78.2



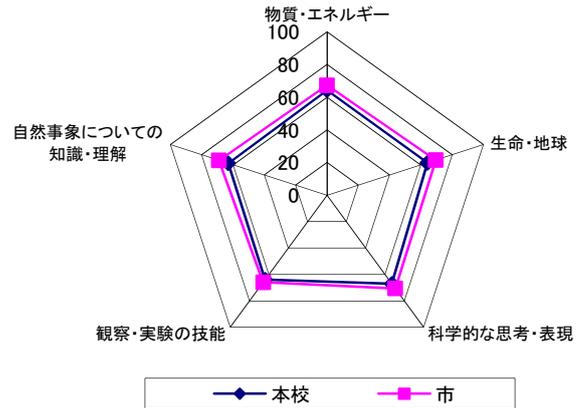
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算 (85.5%)	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均正答率を上回っている。分数の乗法・除法ともにほぼ市平均を上回っている。分数の計算についてはおおよそ定着しているといえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算問題などはこれからも継続して反復練習を積み重ねていく。また、分数、小数の乗法と除法の混じった計算についても繰り返し練習する機会を設けていく。
量と測定 (78.6%)	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均正答率を上回っている。速さを求める問題や、三角形や平行四辺形の求積では市平均を上回り、よくできている。三角形の体積を求める問題がやや市平均を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形の面積や体積を求める公式の意味をしっかりと復習させる。さらにいろいろな図形の面積や体積を工夫しながら求める経験も積ませる。
図形 (70.4%)	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均正答率を上回っている。線対称と円周を求める問題は市の平均を上回っており、円を使った正多角形のかき方がしのへいきんをしたまわって。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形を実際にかく場面を様々な学習で取り入れ、活用できる力をつけていく。 立体の構成要素や展開図などについては、具体物を通して学習することでさらに定着を図る。
数量関係 (73.4%)	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均正答率を上回っている。文字の式、比例と反比例の問題はすべての問題で上回っている。割合と比の記述式問題が市の平均を下回っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の式や比例と反比例については、より一層多くの問題に触れさせることで、さらに定着を図る。 身近な生活の中から問題を提示することにより、割合についての理解を深めていく。

宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	64.3	67.3
	生命・地球	64.1	69.5
観点別	科学的な思考・表現	67.0	70.6
	観察・実験の技能	64.0	65.9
	自然事象についての知識・理解	63.0	69.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 「もののとけ方」は、正答率はほとんど市の平均を上回り、十分身に付いているといえる。 「ものの燃え方」や「水よう液の性質とはたらき」の中には、低い正答率だった項目があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりこが1往復する時間は、ふりこの長さによってかわることや2種類の個体が解けた水よう液の見分け方を、実際に扱う機会を設け、定着を図る。 ・6年のみでなく、5年時の学習も復習するよう声かけをする。
生命・地球	<ul style="list-style-type: none"> ・「植物のからだのはたらき」「太陽と月の形」「生き物のくらしと環境」は、市の平均正答率を下回っている。 ・「動物のからだのはたらき」は、ほとんどの問題で市の平均正答率を上回っているが、設問によって正答率の低いものがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日光による葉の働きについて復習し、結果をもう一度まとめさせる。 ・生き物のくらしと環境について、学習して分かったことを自分の言葉でまとめる機会を設ける。